AirTriQドリームキャビネット利用ガイド（はじめに）

2023 年 6 月

本ガイドについて

本ガイドは AirTriQ ドリームキャビネットをご利用いただく際に最初にご覧になる利用ガイドです。
大容量プランまたは AirTriQ プレミアムをご利用のお客さまは本ガイド記載の中の「顧客 ID」は「フォルダーID」に読み替えていただきますようお願いいたします。

© Copyright ユニアデックス株式会社 All rights reserved.

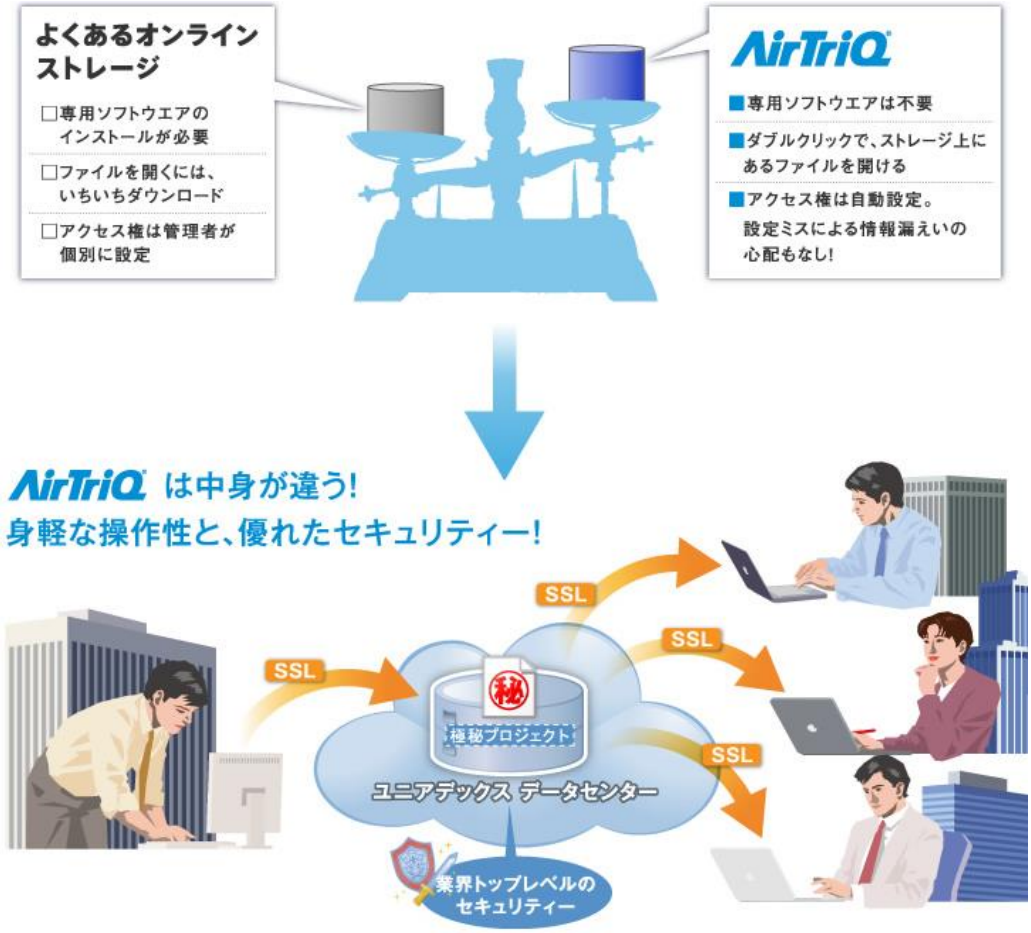
目 次

I AirTriQ ドリームキャビネット概要 3
(a) AirTriQ ドリームキャビネットとは？ 3
(b) セキュリティについて 4
(c) ユーザーについて 5
1 管理者 5
2 一般ユーザー 5
3 コラボレーションユーザー 5
(d) フォルダー構成について 6
1 Collaboration (コラボレーション) フォルダー 6
2 Mail フォルダー 7
3 Personal (個人用) フォルダー 7
4 Project フォルダー 8
5 ReadOnly (読み取り専用) フォルダー 9
6 Share (共有) フォルダー 9
7 各フォルダーとユーザーの関係 10
(e) 動作環境 11
1 オペレーティングシステム 11
2 Web ブラウザー 11
3 アプリケーションソフトウェア 11
(f) 文字制限 12
II AirTriQ ドリームキャビネット使用方法 13
(a) Web クライアントによる利用 13
(b) ネットワークドライブによる利用 14
III お問い合わせ対応 15
(a) ご契約に関するお問い合わせ 15
(b) 技術的なお問い合わせ 15
(c) 障害情報URL 15
IV 付録 16
(a) 登録商標、商標、および表記について 16

I　AirTriQ ドリームキャビネット概要

(a)　AirTriQ ドリームキャビネットとは？

AirTriQ ドリームキャビネットは専用クライアントソフトウェアを必要としないインターネットオンラインストレージです。「いつでも、どこでも、どのデバイスからでも必要な情報にアクセス出来る」ことを実現したITソリューション、そして使い方次第でお客様のビジネススタイルを一新することができる頼もしいシステムです。



AirTriQドリームキャビネットにご加入のお客様には、お客様固有の顧客 ID を含む URL を提供し、Web ブラウザーやエクスプローラーからその URL をアクセスしていただきます。お客様はこのストレージ領域をお客様専用の“Web フォルダー”として認識でき、このフォルダーに格納されたデータはインターネットに接続されたクライアントPCからアクセスすることが出来ます。

(b) セキュリティについて

インターネットにおいて大切なことの一つにセキュリティがあげられます。AirTriQ ドリームキャビネットではすべての通信においてセキュア・ソケット・レイヤ (SSL/TLS)[1]による 256 ビットの暗号化を施しており、安全な通信を実現しています。

[1] Netscape Communications 社によって開発された、現在もっとも普及しているインターネットの暗号通信プロトコルです。インターネットにおいて盗聴不可能で安全な通信を可能にします。

(c) ユーザーグループについて

AirTriQドリームキャビネットでは、管理者、一般ユーザー、コラボレーションユーザーの3種類のユーザーグループがあります。それぞれのユーザーグループの役割などについて、以下で簡単に説明します。

1 管理者

管理者はお客様のサイトにおけるAirTriQドリームキャビネットの管理者に割り当てられるユーザーです。ユーザーの追加、削除、変更を行うことが可能であり、また、お客様情報の変更や、全体のディスク使用量の把握などが可能です。管理者は一般ユーザー同様にAirTriQドリームキャビネットを使用することが可能です。管理者は最低一人が必要ですが、複数の利用者に設定することも出来ます。管理者の設定は管理ツールで行います。詳しい操作方法については、「AirTriQドリームキャビネット 利用ガイド（管理ツール編）」をご覧ください。

2 一般ユーザー

一般ユーザーは社内におけるAirTriQドリームキャビネットの利用者に割り当てるユーザーです。一般ユーザーは割り当てられたフォルダーにおけるファイルの作成、保存、削除、読み取りを行うことが可能です。利用可能なフォルダーについては、次章をご覧ください。また、一般ユーザーは自身が使用しているパスワードの変更、使用しているディスク容量の確認が可能です。

3 コラボレーションユーザー

コラボレーションユーザーは双方向のデータ共有を行う社外のメンバーに割り当てるユーザーです。コラボレーションユーザーはCollaboration (コラボレーション) フォルダーと呼ばれる特定のフォルダーにのみ作成、保存、削除、読み取りを行うことが可能なユーザーです。このフォルダーは一般ユーザー、管理者、コラボレーションユーザーによって共有されているため、双方向でのデータの交換が可能です。

(d) フォルダー構成について

AirTriQ ドリームキャビネットご加入直後のフォルダー構成は次の通りとなっています。以下の画面例は、顧客 ID が example.com の場合です。

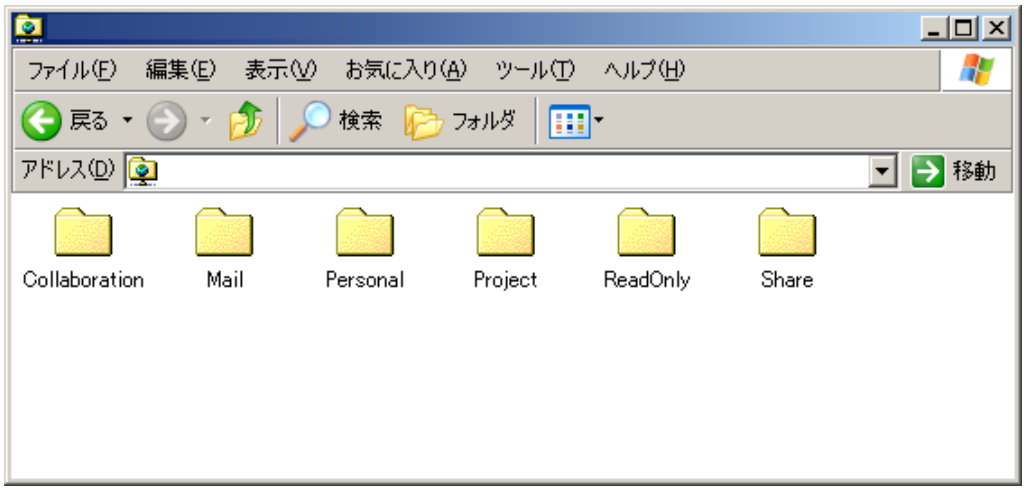


図 1 トップフォルダー

初期設定時には図 1 のように 6 つのフォルダー[2]が作成されています。それぞれのフォルダーについて簡単に特徴を説明します。

1 Collaboration (コラボレーション) フォルダー

AirTriQ ドリームキャビネットにおいてもっとも特徴のあるフォルダーで、社外や組織外との双方向のコラボレーションに使用します。Collaboration フォルダーはコラボレーションユーザー、一般ユーザー、管理者によって共有されています[3]。このため、社外のコラボレーションユーザーが保存したファイルの社内の一般ユーザーによる編集や、その逆の操作が可能になります。コラボレーションユーザーを登録することで Collaboration フォルダーの配下にコラボレーションユーザーのフォルダーが自動生成されます。

コラボレーションによるファイル共有が期間限定の場合、Collaboration フォルダー使用終了後に管理者がフォルダーごと削除することができます。

[2]初期設定時に作成されるフォルダーと同じ階層にファイルやフォルダーを作成することは出来ません。

[3] コラボレーションユーザーは Collaboration フォルダー内の割り当てられたフォルダーのみを利用するように設計されています。このため、他のフォルダーにあるお客様のデータがコラボレーション先に漏洩することはありません。

2　Mail フォルダー

期限付きダウンロード機能で使用するフォルダーです。Mailフォルダーの下には1回のアップロード毎にサブフォルダーが自動生成されます。期限付きダウンロード機能のメールを受け取った相手は、メール本文のURLをクリックすることでサブフォルダー内のファイルをダウンロードすることができます。このサブフォルダーは管理者であっても削除することができません。

3　Personal (個人用) フォルダー

一般ユーザーや管理者が個人的に使用するフォルダーです。Personal フォルダーの下にはAirTriQドリームキャビネットに登録されている管理者及び一般ユーザーのユーザーID と同じ名前のフォルダーが自動生成されます。

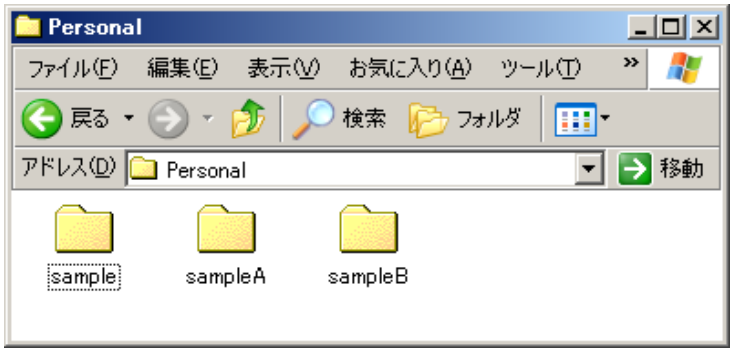


図 2　Personal フォルダー

上記例では、sample という管理者が、一般ユーザー sampleA と sampleB を追加した場合の Personal フォルダーの内容を表示しています。

管理者 sample のフォルダーを開くと、図 3 のようにユーザー登録時に AirTriQドリームキャビネットが自動生成した private と public の 2 つのフォルダーが表示されます。一般ユーザー sampleA と sampleB のフォルダー内にも同様に Private と Public フォルダーの 2 つのフォルダーが作成されます。

図 3 ユーザーフォルダー

この 2 つのフォルダーにはそれぞれ次のような機能があります。

① Private (プライベート) フォルダー

Private フォルダーはフォルダーの持ち主であるユーザー (この例では管理者 sample) のみがファイルやフォルダーを作成、読み取り、保存、削除することが可能なフォルダーです。

Private フォルダーは他のユーザー、たとえ管理者であっても操作することが不可能です。

② Public (公開) フォルダー[4]

Public フォルダーはフォルダーの持ち主であるユーザー (この例では管理者 sample) だけがファイルやフォルダーの作成、読み取り、保存、削除が可能なフォルダーです。

持ち主以外のユーザーは読み取りだけが可能です。このため、個人的な情報の発信やデータの提供などに使用すると大変便利です。

4 Project フォルダー

特定メンバー間でファイル共有するときに使用するフォルダーです。管理ツールからプロジェクト作成を行うと、Project フォルダーの配下にサブフォルダーが自動生成されます。このサブフォルダーはプロジェクト作成時に設定したユーザーしかアクセスすることができません。

アクセス権には、読み取りのみと読み取りと更新の 2 種類があります。

[4] フォルダー所有者以外のユーザーが Public フォルダーにあるファイルをダブルクリックで開こうとすると、一部クライアント環境によっては開けないことがあります。その際にはご自分の PC のデスクトップまたは適当なフォルダーにコピーしてご利用ください。

5 ReadOnly (読み取り専用) フォルダー[5]

一般ユーザーに対する読み取り専用のデータを格納するフォルダーです。ReadOnly フォルダーは、管理者がテンプレートや定型データなどを置いておき、一般ユーザー自身の PC で編集するような用途に向いています。ReadOnly フォルダーの下にフォルダーを作成、保存、削除することが可能なユーザーは管理者だけです。

6 Share (共有) フォルダー

一般ユーザーや管理者がデータをシェア(共有)するためのフォルダーです。Share フォルダーには一般ユーザーおよび管理者がフォルダーやファイルを作成、読み取り、保存、削除することができます。ファイルの使用目的やプロジェクト単位などでフォルダリング・ファイリングをすると便利です。Share フォルダーにあるファイルは読み書き自由ですが、他のユーザーがダブルクリックで開いて編集しているときには編集することが出来ません。なお、この機能はファイルをダウンロードして編集する場合には適用されません。

[5]一部のクライアント環境では、ReadOnly フォルダー内のファイルはダブルクリックで開かないことがあります。その際はファイルをご自分の PC のデスクトップ、または適当なフォルダーにコピーしてご利用ください。

7　各フォルダーとユーザーの関係

上記のフォルダーとそれぞれのユーザーの関係は以下のようになります。

	管理者	一般ユーザー		コラボレーションユーザー	
		ユーザーA	他のユーザー	ユーザーB	他のユーザー
顧客IDのトップフォルダー	R	R	R	－	－
Collaboration	R	R	R	－	－
ユーザーB	R／W	R／W	R／W	R／W	－
Mail	R	R	R	－	－
Personal	R	R	R	－	－
ユーザーA	R	R	R	－	－
Private	－	R／W	－	－	－
Public	R	R／W	R	－	－
Project	R	R	R	R	R
プロジェクトフォルダー	R／W	R／W	R／W	R／W	R／W
ReadOnly	R／W	R	R	－	－
Share	R／W	R／W	R／W	－	－

－	ディレクトリーの参照も含めて全てのアクセスができない。
R／W	ディレクトリー参照、ファイル閲覧およびフォルダ、ファイルの追加削除が可能
R	ディレクトリー参照、ファイル閲覧が可能

図 4　各フォルダーとユーザーの関係

(e) 動作環境

AirTriQドリームキャビネットを使用するためには、以下のような動作環境が必要です。

1 オペレーティングシステム

最新の Windows Update が適用された下記のオペレーティングシステム (以下、OS)

Windows10

AirTriQ ドリームキャビネットは、本ガイドの発刊現在で上記 OS の最新版における動作を確認しております。それ以前にアップデートされたOS、もしくはアップデートが未適用のOSにつきましては、最新版にアップデートされることを推奨します (アップデートされていない場合、AirTriQドリームキャビネットがご利用になれない場合があります) 。

2 Web ブラウザー

・windows

Firefox

Chrome

Microsoft Edge

・iOS

Safari

3 アプリケーションソフトウェア

AirTriQドリームキャビネットにはさまざまなフォーマットのファイルでの利用が可能です。これらのファイルはアップロード、ダウンロードによってユーザーのPCからアクセスすることが出来ます

(f) **文字制限**

AirTriQ ドリームキャビネットでは、ファイル名やフォルダー名として使えない文字があります。ファイル名やフォルダー名に以下の文字が含まれている場合、入力時のエラーや予期せぬ結果となることがあります。

また、ご利用のブラウザーの種類やバージョンにより、事象が異なる場合があります。

事象	使えない文字
ファイル名やフォルダー名に使用できない	¥ / : * ? " < > | # & , ; ~

II　AirTriQ ドリームキャビネット使用方法

この章では AirTriQ ドリームキャビネットのご利用方法について説明します。

(a)　Web クライアントによる利用

Web クライアントとは、お客様の AirTriQ ドリームキャビネット上のフォルダー/ファイルに対し、Web ブラウザーからアクセスしていただくためのツールです。詳しい操作方法については、「AirTriQ ドリームキャビネット利用ガイド（Web クライアント編）」をご覧ください。

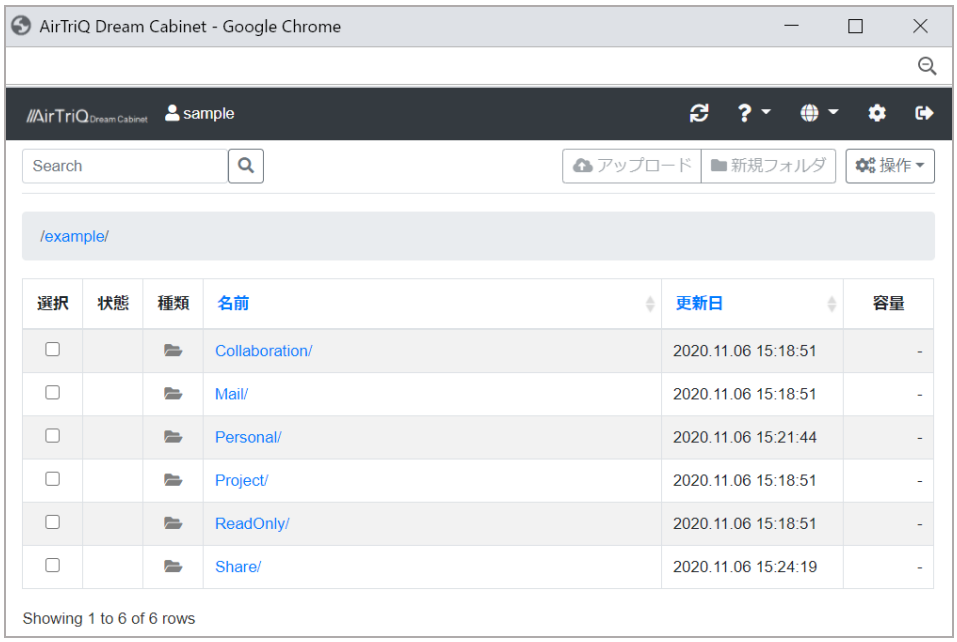


図 5　Web クライアント

(b) ネットワークドライブによる利用

AirTriQ はマイクロソフトウインドウズ・エクスプローラ上でネットワークドライブに割り当てて Windows エクスプローラーとほぼ同様の使用感でご利用いただくことも可能です。
ウインドウズのネットワーキングと AirTriQ ドリームキャビネットのネットワークドライブの大きな違いは使用しているプロトコルです。マイクロソフト Windows は SMB (Server Message Block) を使用しているのに対して、AirTriQ ドリームキャビネットは WebDAV(RFC4918) という HTTP 拡張プロトコルを使用しています。詳しい操作方法については、「AirTriQ ドリームキャビネット利用ガイド（ネットワークドライブ編）」をご覧ください。

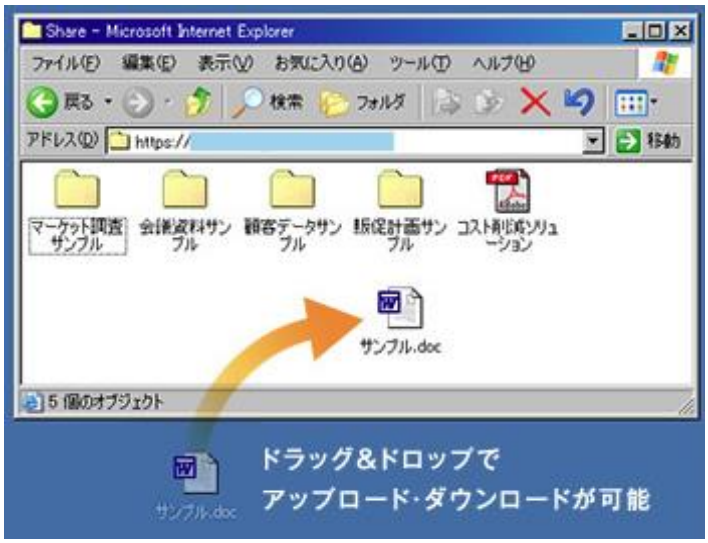


図 6 ネットワークドライブ

III　お問い合わせ対応

お問い合わせは登録された連絡担当者様からのみを受付致します。

(a)　ご契約に関するお問い合わせ

項目	説明
窓口	AirTriQ インフォメーションセンター
受付時間	弊社営業日 9:00～17:00
電子メール	info@airtriq.jp

(b)　技術的なお問い合わせ

項目	説明
窓口	AirTriQ サポートセンター
受付時間	弊社営業日 9:00～17:00
電子メール	support@airtriq.jp

(c)　障害情報ＵＲＬ

以下のホームページで障害情報を公開しています。

http://www.airtriq.jp/mainte.html

IV 付録

(a) 登録商標、商標、および表記について

マイクロソフト ® Windows® 10 Operating System 日本語版

本ドキュメント中では、上記各オペレーティングシステムを Windows10 と表記しています。
また総称して Windows または OS と表記を省略することがあります。

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国及び各国での登録商標または商標です。また、そのほかすべての商標、登録商標は該当する各社が有しています。